

この地震防災マップは大館市のホームページでも見ることができます。

※お問い合わせ先: 市役所都市計画課 (TEL:0186-43-7084)

解説

日本列島は、古くから繰り返し地震による被害を受けてきました。最近でも平成7年の阪神・淡路大震災、平成16年の新潟県中越地震、平成19年の新潟県中越沖地震などが発生しています。

本市では、考えられる最も大きい地震が発生した場合に予測される各地域の震度を示した「揺れやすさマップ」、地域ごとの建物被害の危険性を示した「地域危険度マップ」を作成しました。

このマップの利用方法

マップを見て、こんなことを考えてみてください。

- 自分の家の揺れはどのくらい?
よく行くところ、よく通る道は安全ですか?
自宅や職場の耐震性は大丈夫?
家の中の家具や家電製品は、倒れてこない?

マップを見て、こんなことをやってみてください。

- 崖地や高い塀があるところ、古い建物が密集しているところなどの危険情報を記入する。
病院、市の施設、避難所などの必要な場所を記入する。
必要な場所への安全な通り道を確認する。
住まいの安全性を確保する(耐震診断、耐震改修)。
家具、家電製品の転倒防止対策を実施する。



木造建物被害の例 (平成19年7月新潟県中越沖地震)

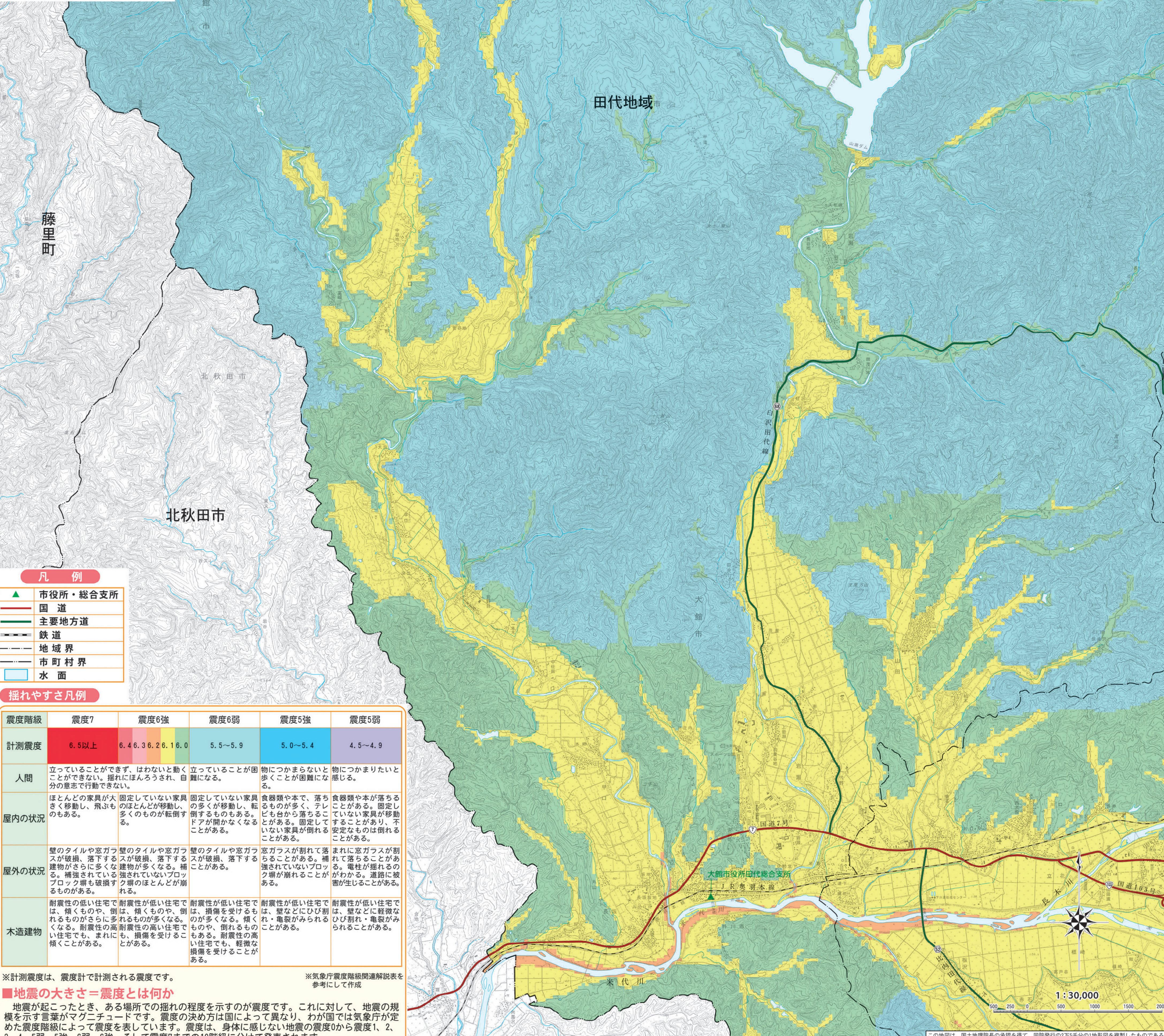
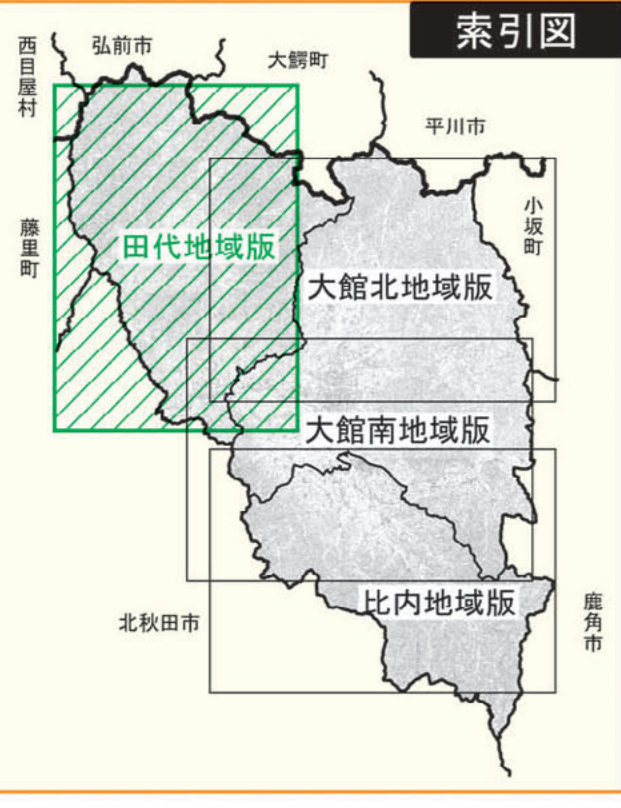


Table with symbols for city offices, national roads, prefectural roads, railways, regional boundaries, and village boundaries.

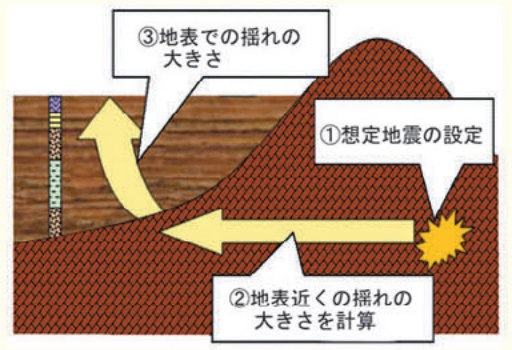
Table titled '揺れやすさ凡例' (Shaking Intensity Legend) with columns for intensity levels (震度7 to 震度5弱) and rows for human impact, indoor conditions, outdoor conditions, and wooden buildings.

地震の大きさ=震度とは何か
地震が起こったとき、ある場所での揺れの程度を示すのが震度です。これに対して、地震の規模を示す言葉がマグニチュードです。

揺れやすさマップができるまで

大館市内の地点ごとに、考えられる最大の震度を表示したのが、揺れやすさマップです。

- 1 大館市に大きな影響を与えることが予想される地震を選び、震源や規模などを設定
2 それぞれの地震について震源からの距離と揺れの強さの関係をj用いて、地表近くの硬い地盤までの揺れの大きさを計算
3 表層の地盤の揺れやすさを加味して、想定される地震ごとの震度分布図を作成
4 想定される地震ごとの震度分布図のうち、その地域で最も大きな震度を採用し、揺れやすさマップを作成



大館市で想定される地震

Table comparing three earthquake scenarios: active layer, plate boundary, and nationwide events, with corresponding maps and intensity scales.

※内陸で発生する大きな地震は、「活断層」として記録され、数千年周期で繰り返し活動をしています。